

神経内科

1. 概要

2014年のスタッフは、年初の1～3月と産休のための1名減でかなり厳しい状況でしたが、4月からは4名にもどりました。しかしながら、現状4名では需要に十分対応できていません。

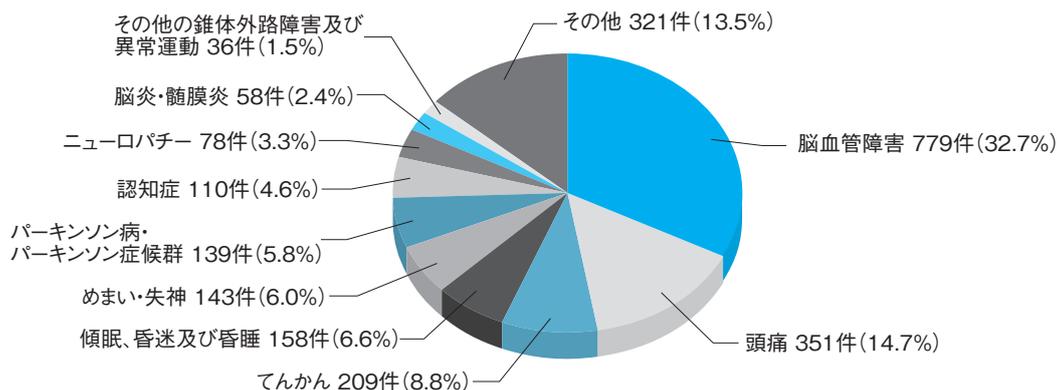
入院診療：2014年の総入院患者数は昨年同様600人弱でした。入院患者の疾患の内訳は、例年通り、脳血管障害が約60%を占め、超急性期脳梗塞のtPA治療例もtime windowが4.5時間になり少し増え13人でした。最近の傾向としては高齢者のてんかんが増えております。治療後の退院・転院は、患者総合支援センターにより、随分スムーズになりましたが、転院先の混雑具合、老老介護、独居老人などの家族背景が難しくなり、とても月日のかかる例が多くなっています。

外来診療：年間の総数は8,550名で、その内初診者数は1,332名でした。また初診者の366名（約28%）が市外の方でした。相変わらず当科に、周辺地域を含め、あらゆる神経疾患が集中しています。

(部長 李野 謙次)

●疾患別頻度

総件数：2,382件



●神経難病6疾患

	疾患名	件数(件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	139
2	多系統萎縮症	2
3	脊髄小脳変性症	4
4	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	12
5	重症筋無力症	12
6	多発性硬化症	19
	計	188

学会発表（医局）

<神経内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院におけるイーケプラ使用経験からわかること	筆頭演者	岩井 克成	東三河てんかんセミナー	2014/3/6
2	アルツハイマー型およびレビー小体型の病理所見を併せ持つ認知症例の臨床的特徴	筆頭演者	岩井 克成	第55回日本神経学会学術大会	2014/5/22

座長・司会（医局）

<神経内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	特別講演	空野 謙次	パーキンソン病を考える会in東三河	2014/2/6
2	特別講演	空野 謙次	東三河てんかんセミナー	2014/3/6
3	特別講演	空野 謙次	パーキンソン病を考える会in東三河	2014/8/29